

過去のスタッフふりかえり抜粋

年度	コース	遊び面	回答
2019春	研修	工作は実際やってみて結構難しいことも多かったのですが、工作の担当はできそうもないなと思った。	キャンプ初参加の人や工作が苦手な人などは作り方やコツを教えるのは難しいかもしれませんが、大体のことは勝手に自分で何かを作っているのでも、こども達が危ない事をしないよう見守る(軍手の着用確認や工具の使い方が間違っていないかなど)ことができれば大丈夫です。あまり焦る必要なくチャレンジしてみてください。工作に限らずですが、説明をしても低学年の子や発達障がいの子など説明理解できなかったり、すぐに忘れてしまったりすることが当たり前だと思ってください。その上で、説明したことを各スタッフが理解して、こどもに教えてくださる進んでください。
2019春	研修	工作の時にこどもにも全部説明しようとする結局どうしたらいいかわからなくなるかもって思います。	こどもキャンプのような自然環境教育の場において、指導方針には大きく分けて「こどもの主体性を最も重視する」ものと「決まったプログラムはなく遊びは各自で考え、班活動などもあまりないフリーキャンプ(放任主義)」と「コンテンツをしっかりと決めて、班に分かれて同じことを行うキャンプ(プログラム中心で自由度はない)」の2つに分けられますが、どちらが正しいというものはないと考えています。
2019春	C	選択プログラムではわざわざ山の家に来ているのに部屋にこもって漫画を読んでいたりカードゲームをしたり、それは家でできるんじゃないかなと思いました。それならみんなで同じプログラムに取り組んで、その後の休憩時間にみんなで室内で休んだり遊んだりすればいいのかなと思いました。全体的にこども達は各自の自由先にあるやたいことを選んで楽しさを得ている感じがします。楽しさも大事かなとは思いますがわざわざ山の家にきてたたくさんの新しい友達と過ごしているのだから、自然を思う存分感じたい。集団行動の大家や時間通りに動いてくを学んだり、自己管理を自分自信でしたりと普段感じ取れないような事をもっと経験させてあげたいです。	こどもキャンプのような自然環境教育の場において、指導方針には大きく分けて「こどもの主体性を最も重視する」ものと「決まったプログラムはなく遊びは各自で考え、班活動などもあまりないフリーキャンプ(放任主義)」と「コンテンツをしっかりと決めて、班に分かれて同じことを行うキャンプ(プログラム中心で自由度はない)」の2つに分けられますが、どちらが正しいというものはないと考えています。
2019春	研修	山の家では温度調整が容易にできるためこどもが融ると火傷する可能性がある。	山の家のお風呂は一番風呂の場合、熱めにお湯が用意されているため、まずは水で温度調整してください(後のお客さんのことも考えて、温度を下げ過ぎない)。また、90℃近い非常に熱いお湯も出るので、蛇口近くには必ずスタッフがいて、こどもが近づかせないよう注意してください。
2019春	A	寝る部屋が大部屋か小部屋の両極端の大きさだったので、大きすぎる部屋に大人で寝るのが嫌だと思っている子もいるようでした。	集団生活の悪い点を経験することも大切だと思うので、基本的には我慢してもらいますが、すぐ嫌がっているようであれば、部屋を変更するなど対応するので相談してください(部屋の大小に限らず、テント泊・室内泊への変更希望等も)
2019春	A	エアコンの効きが良かったけど、夏は効きすぎて風邪をひいてしまいたいそうでした。	就寝時は温度を下げたエアコンは出来るだけ切る、寒い(暑い)場合には出来るだけ弱めに設定してください。こどもの温度設定は強過ぎるため、必ずスタッフが温度管理をしてください。
2019春	B	お風呂入る時にこどものロッカーの鍵は預かる?管理が大変そうだった。	鍵を預かると管理が大変なので、こども自身で管理させ、2人1組でロッカーを使用し、1人が先に入る場合は鍵を替えた後もう1人に鍵を渡せばいいです。女の子の保護者からのアンケートで「ベア行動でもう一人が出たため自分も出ていけなくてびっくりできなかったのが残念だった」とありましたが、ロッカーは2人で使ってもベア行動にする必要はないです。
2019春	B	コテージは設備が整っているのに、困ったことはなかった。お風呂は女子では湯船に髪がつかないように、髪の毛をまとめるゴムを持ってきたよう声かけが必要だと思う。	女性スタッフは声掛けをするようにしてください。
2019春	研修	風の影響を受けやすいから煙や灰が舞って嫌になる子が出るかも...	灰が入ると気になるかもしれませんが、灰は水に溶かして山菜のあく抜きに使ったりできる食品添加物としても使用されており、食べても体に害はありません。...とは言え、見た目が気になると思うので、食べるまで時間があく場合にはラップを使用するなどしてください。
2019春	A	食事作りのお手伝いにもこどもが来ると、スタッフがついていなければいけなから倍以上の時間がかかる。お手伝いのこどもが多すぎるとやることなくなるから、調理室内で遊び始めて危ない調理途中にもこどもが食堂に来ると調理室に入ってきて歩き回ったり、ガスコンロのそばに来たりして危ないから、調理中に食堂に来させるとはやめてほしい。牛丼作りを手伝ってくれる子を募集しない方がいい。もうききと、食事係、スタッフひき(料理ができる人が居れば十分。こどもの募集は時間に十分な余裕があれば募集してもいいと思う。フレンチドレッシング、和風ドレッシング、ノンオイル和風ドレッシングのなかで一番好評で美味しかったのは、和風ドレッシングだった。ノンオイル和風ドレッシングは酸っぱかったため、不評。	食事係の炊事師のこどもの手伝いは難しいですが、やり次第では問題なくできます。注意することは①人数は数人に制限 ②カレーのように時間がかかること、難しいことまでさせない(炊飯・肉を切るなど) ③やること無くならない遊び始めるので終わりにする 自分もコースで何度かこども達に手伝ってもらいましたが、納豆パックや海苔の袋を切り分けて各テーブルに配る、食器を用意させる、バナナを切らせるなど手伝ってもらって助かりました。Aコースの時は一番急いでやらなければならない炊飯器をこどもにさせたのがまずかったか。まあ無理に手伝ってもら必要はないので、難しいと判断したら手伝いはさせなくてもOKです。
2019春	研修	運営側とスタッフの距離感が近くとても良かった。リピーターのスタッフがどんどん増えていくと、新規のスタッフの居心地が悪くなる場合もあるかな?みんなリピーター顔見知り+新規数名とか。こういうご参加する人はあんまり関係ないか?参加する時はよく見て声かけようと思います。	スタッフ同士の間が近いと新規の人は入りづらくなるので、運営側でも孤立している人はいないか見て、歳の近いスタッフに話しかけてあげるよう声掛けするようにしています。長期スタッフの人や回数を重ねてきた人は、新規スタッフの不安な気持ちを察して声を掛けるようにしたり、内輪で盛り上がり過ぎないようにしてあげて
2019春	A	今回のキャンプでは怪我をしている子が多い印象でした。遊ぶ時間じゃないときに切り替えられずに遊んでしまったり、こどもが高いところに登っていたりして危険な状況にあるとき等些細なことに対して、軽く注意することをもっとしてほしいんじゃないかなと思います。叩いてじゅわあするって思った時点で喧嘩に発展しないように止めたり、危険な理由を説明してからやめてと言ったり事故を起こさないようにしてあげたいです。	学校ではなく遊びにきているので、少しふざけているくらいで強く注意しなくてもいいですが、何度言っても聞かない場合や安全に関与している場合、他人に危害・迷惑を与える場合は放置せずに厳しく注意してください。
2019春	A	保健係への傷病の報告が徹底できていなかったため、スタッフにもこどもにもしっかり伝えたい方いいと思う。(夜に知ってでも結局何もできないし、報告を書く時に保健係が状況を分かっていない状態で書くことになると大変なので)。夜のふりかえりでも病気や怪我をしっかりと聞くべき。	研修では伝えていますが、日中のケガした時に誰にも伝えていなくて保健係が把握していないものもあるので、夜のふりかえりでのケガ・病気チェックは口で聞くだけでなく、目で確認、触診など、出来るだけ詳しく聴取するようにしてください。
2019春	B	・体調不良の子の面倒を見ていた時は、早めに報告して欲しい ・山の家でHS対応を保健室でやった方がいいと思う。こどもの部屋だと入ってこれる	体調不良やHS対応など誰かに付き切りになる場合にはLINEで共有してください。HS対応は基本的に保健室などこどもがいない場所に対応してください。
2019春	C	もう少しスタッフ間で1日の流れを共有しておきたかったです。また、こどもたちが楽しむためのキャンプなら室内遊びはいいと思うのですが、こどもたちの成長を目指すキャンプならば、普段しない事をして新しい経験を積んでもらうためにも、どこでも出来る室内遊びは諦めるべきなのかなと思います。	以下の理由で室内遊びは必要だと考えています。 ・そもそも考え方で、教育機関ではないので、こどもの成長を全面に押し出してスキルに学びを求めるのではなく、基本的にはこどもが楽しめる場を大切に、楽しむ中で自然と成長して行く環境作りを目指している ・新しい経験をさせることも重要視していますが、いろいろな人と交流することも大切に行っているため、外遊びとはまた違った交流ができる室内遊びも必要 ・屋外遊びが苦手なインドアな子もいる(実際にリピーターの子で、超インドアけどどちらのキャンプは室内系の遊びが選べるので参加しているという子もいます) ・体調不良や外での遊びばかりだと飽きてしまう子もいる
2020春	研修	ビーフシチューとサラダだけだとシチューが苦手な子はサラダしか食べるものがなくなるので、もう一品くらいあってもいいかなと思います。	メインメニューが食べられない子のための代替品は用意してあるので、そういう子がいた場合には相談してください。(ビーフシチューがダメな子のためにハンバーグやカレーなど)
2020春	研修	名古屋駅集合の車内での席ですが、2列目にリピーター、3列目に新規スタッフだと、リピーター同士で盛り上がり過ぎて、3列目の人はなかなか会話に入りづらいと思います。特に新規スタッフはここが緊張のピークだとなので、2列目に新規スタッフを、3列目にリピーターを置いてあげることで、必然的に新規スタッフが常に会話の輪の中に入ることになり、よりよやく打ち解ける手助けになると思います。列ごとに新規とリピーターを混合にするのもありだと思います。また、友達同士で来ている人達は、会話がその中で完結してしまいがちなので、席を隣にしないで別々にすればその間だけ人間関係が完結することがなく、他のスタッフとより円滑な交流が図れると思います。新規スタッフが他スタッフとの人間関係がうまくいかないと、スタッフ自身も楽しくなくてリピーターも楽しくなくなってしまうので、今でも十分馴染みやすい環境ではあるんですけど細かい所も改善した方がいいと思います。	今後そこらへんを考慮して車に乗せるようにしていきます。
2020春	D	スタッフ同士結構仲良くできた気がしますが、夜は山の家に行くスタッフが全員で集まる機会が少ないなと思いました。もう少し全員で交流する時間があったらいいです。	キャンプ本番では交流する時間とるのは難しいので、他スタッフと交流したい人はぜひ研修に参加してください。
2020春	A	ぬいぐるみはケンカになるので出さない方がいいと思います。	ぬいぐるみに限らず、遊び道具や備品の取り合い等のトラブルはたくさんあると思いますが、集団生活にトラブルはつきものなので、「原因となるものを排除して解決」ではなく、円満に解決するにはどうすればいいのかが、スタッフも考え、こどもにも考えさせて欲しいです。
2020春	A	こどもが喧嘩したときに少し怒りすぎた。優しく言ってもすぐ繰り返すしどのくらい怒るべきかよく分からない。	しつけをする場ではないので、他人に迷惑をかけた、危害を加えたりした場合はしっかりと叱る。それ以外の悪ふざけなどはほどほどに... 明確な基準はないですが、あまり厳しく叱り過ぎてモチベーションが下がったり、怖がられてしまっても困るので、保護者に見られても問題ないレベルを目安にしてください。
2020春	A	食堂で食べたくないというこどもをできるだけ食堂へ誘導したほうがいいのか、それとも他の場所で食べさせることを許可してよいか判断し困った。わがままが言えることもばか許可をし、本当は食堂で食べたくないのに許可されないこどもがいたのが気がなりました。	ケースバイケースでどちらが正しいというものはないので、その都度判断し、分らなければ他のスタッフと相談してください。
2020春	A	新規のスタッフがホームシックの子に「ママに会いたいね」という感じの事を言っていたらいい。ホームシックはなるべくリピーターが対応した方がいいと思う。	リピーターが対応できることは限らないので、対応できるスタッフが対応してほしいと思いますが、本件に限らずマニュアルに書いてあることができていない(読んでいない?)スタッフが見受けられるので、しっかりとマニュアルを讀むようにしてください。
2020春	B	すぐに席を離れてしまう子は、追いかけても逃げるから追うのは逆効果かなと思ったりしました。放っておいても帰って来ないのに対応はまじわりませんでした。また、もう少しこどもが何で嫌がっているのか聞けば良かったなと思います。	対応の難しい子の対処法に正解はなく、その子に合った対応が必要なので、よく話を聞き、よくこどもを見て対応し、自分で対応しきれない場合は他の人に相談したり、別の人に対応してもらうなどしてください。
2020春	A	今回保健係として初めて活動しましたが、薬のチェックは今回のように各班のスタッフに手伝ってもらって方が保健係の負担が少し軽くなると思います。今後その方法をとるであれば、マニュアルに載せて頂きたいです。薬のチェックをお願いしても忘れ、結局保健係が一人ひとりチェックすることがないようスタッフ全員に知ってもらいたいです。	前回の冬キャンプからそうしています。保健係の対応方法は基本的に研修で個別に伝えていましたが、他のスタッフにも知っておいて欲しいことなので、マニュアルに記載するようにします。
2020春	B	朝、洗面所に鍵をかけるやうと他の人が使えないのでできればお風呂の時以外は鍵かけとね!ってスタッフに伝えてください!	
2020春	研修	研修の工具説明はもう少し簡潔な方が新規の人に分かりやすいと思いました。手動の工具は今回のやり方のように、説明する人と実践の人で分けてわかりやすいと思います。電動工具はほとんど新規の人が使う場面がないので、説明の際には「どんな場面でもこどもを電動工具に誘導するのか」に重きを置くことと、こどももわかるように説明するのではないかなと思います。	その通りだと思います。次回からそうするようにします。
2020春	B	キャンドル作り楽しそうだったし、とても良かったと思うんですけど、コースによってできる遊びとできない遊びがあるのはいないかな...って思います。ブログ?に写真あげなきゃ分からないし、私が気にしすぎなだけかもしれないけど...	出来るだけ公平であるべきですが、些細なことでも含めればコースによって内容にバリエーションが出るのは仕方がないと思います。例えばプログラムの完成度(後のコースの方が改善されて/ため)、工作材料の豊富さ、BQの量の量など...なので、公平性を重視して、より良くできる時がもっとも論議のより、都度都度少しでもこども達が楽しんでくれるようベストを尽くしていきます。
2020春	B	「こどもがうるさいときの注意」「洗いがしっかり担当が分かれていて食べ終わったら洗いに取っかかること」の徹底	
2020春	研修	スタッフしかいない研修かつ初めてのプログラムも多かったようなので仕方ないと思うのですが、結構予定より活動時間が遅れていることが多かったのもうちょっと予定段階での時間の見積もりを正確にしておいた方がいいと思います。	研修は実際にかかる時間を見積もったり、プログラムの改善点を見つけるためのものなので、そもそもスケジュールを守る必要性はありません。また、本番のスケジュールも遅れる時間が遅くなり過ぎないことや他のプログラムの時間が減り過ぎない限りは、時間を正確に守ることより、こども達がより楽しめることに重きを置いて柔軟に変更するべきだと考えています。